

資金循環で地域を変えよう

～NPOの自立につながる新たな資金循環をめざして～

認定NPO法人緑と水の連絡会議の場合

緑と水の連絡会議とは

平成4年 12月 任意団体 緑と水の連絡会議

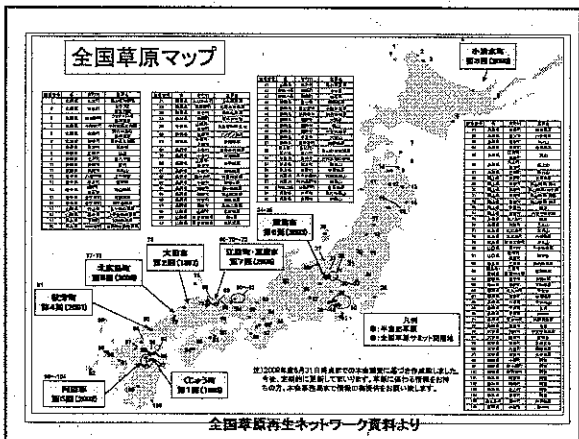
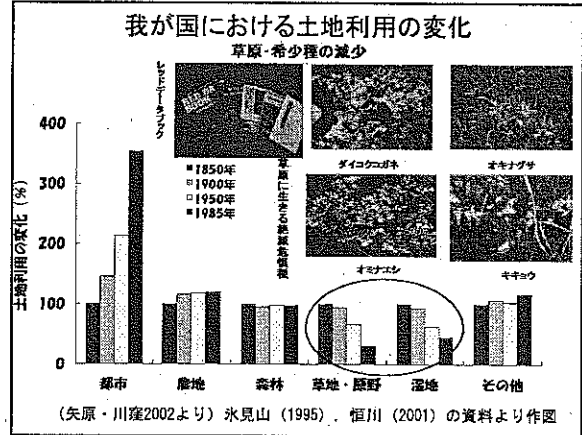
平成15年 6月 NPO法人格取得

平成18年11月全国で49番目、中国四国地方
で唯一の国税庁認定NPO法人格得

活動目的: 里地・里山・里海の文化的景観

および生物の多様性保全をめざす

活動内容: 草原・里山保全・石見銀山・世界遺産を守る森
づくり・バイオマス利用の普及啓発・環境教育・
子育て支援事業・青少年の居場所づくりなど



石銀地区テングス病被害竹林の間伐
国際ワークキャンプ



4日間で約100人参加、0.18ha 9000本伐採処理目標は2ha 10万本！
石見銀山世界遺産：自然との共生をしてきた景観を守るため世界中に呼びかけ、
各国からボランティアが参加

環境教育
げんこ山プロジェクトのためのローラー作戦など



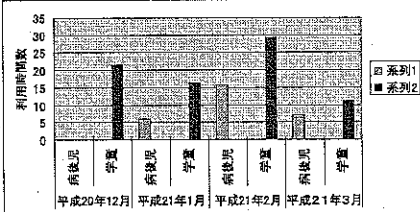
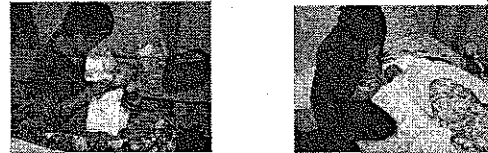
第15回 全国雑木林会議 石見銀山大会

みんなで森を守ろう！
山陰ネットワークとの協働事業

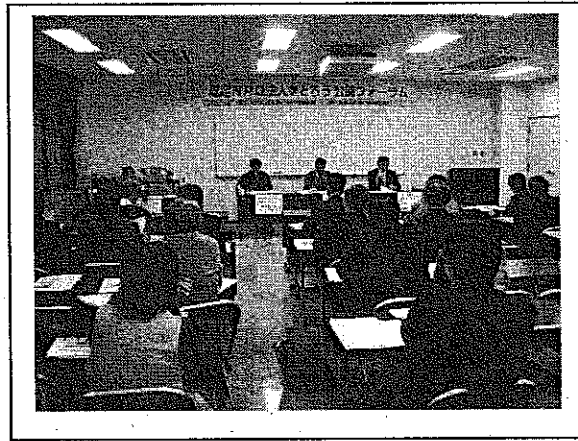
竹林の健康診断ガイドの作成への展開

11月9日 統一行動日

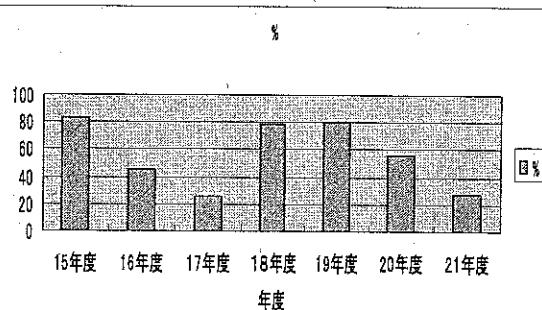
病後児保育から見える子供を取り巻く環境



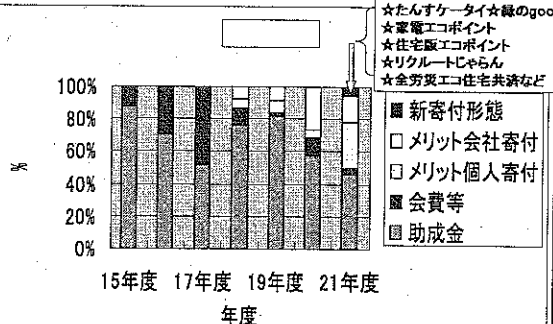
ゆきみーる・青少年の居場所づくり



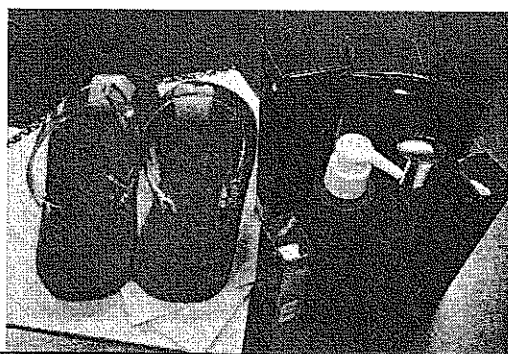
寄付金の総収入に対する割合



寄付金の内訳



最近増えてきた寄付の形(物品寄付)



新しい社会づくりのために
エネルギー循環と資金循環を考えています

認定NPO法人 緑と水の連絡会議
ホイラー所有 業務委託・機械メンテナンス 議員教育・ボランティアの切り口 マルチライオン支援など

寄付金

エネルギー供給
介護保険事業所 グループホームニテサービス シニアホテル・小規模多機能事業所

バイオエタノール
大田の食品産業
グループホーム 七色館
エネルギー
産業用の廃出
バイオエタノール
の仕組み

有限会社 百年くらぶ

これからの当会のファンドレイジングの課題

- NPO法人の会費・助成金以外の経営資源の確保(寄付金収入の増額)
- 手をつけていない資源の開拓(物・人・融資・お金・土地・香典返しなど)
- 当会が認定NPO法人であることの周知と認定NPO法人に寄付の個人メリット・法人メリットの説明と周知(県経営者協会・各県人会などに対して)
- 現在の支援者に対して常に活動のフィードバックを行い、潤沢な金の循環を促す。活動報告を寄付者に報告および簡単にアクセスできる工夫(ブログ・ホームページ・CANPANサイト情報公開も充分とはいえない)
- 寄付者または活動参加希望者に簡単に寄付できる窓口の設置(金融機関・市役所などで紹介する仕組み)鳥根県社会貢献基金と同様な扱い
- マスコミ利用双極的展開(全国および地方: NHKとローカルテレビなど)
- 官に集まっている資金を民が奪取るのではなく、相対的に民の力が弱い島根で官の看板や窓口を借りながらNPOに資金を集め、地方自治につなげるという発想に転換してゆく。→当金だけの独り占めではない
- ローカルな問題を解決しつつ、日本の中の問題を抽出し、ネットワークで解決してゆく(地域課題・日本が抱える問題の双方)
- 活動の信頼性・継続性の担保
- 石見銀山世界遺産登録効果が薄れ、ゆきみー青少年の居場所づくりなど別事業の寄付集め、もしくは使途を限定しない寄付あつめ

